

大学のポジショニング分析と組織的な研究支援体制構築

石本 太郎、栗原 翔吾、○新道 真代、森本 行人
筑波大学URA研究支援室



Times Higher Education (THE) やQuacquarelli Symonds (QS) が発表する世界大学ランキングに注目が集まっており、筑波大学でも、10年後の目標の一つとして「世界大学ランキング100位入り」を掲げています。この目標を達成するために、筑波大学URA研究支援室では、各ランキング公表機関が2013年に使用した採点ルールの調査、内容の精査を行い、現時点での筑波大学のポジショニング分析を行いました。また、これらの情報を参考に組織的な研究支援体制の構築に挑戦中です。

アンケートにご協力をお願いします！：『筑波大学』と聞いて思い浮かべる研究分野にシールをお貼りください。

経済学・経営学	社会科学・一般
複合領域	化学
材料科学	物理化学
計算機・数学	工学
環境・地球科学	臨床医学
基礎生命科学	その他

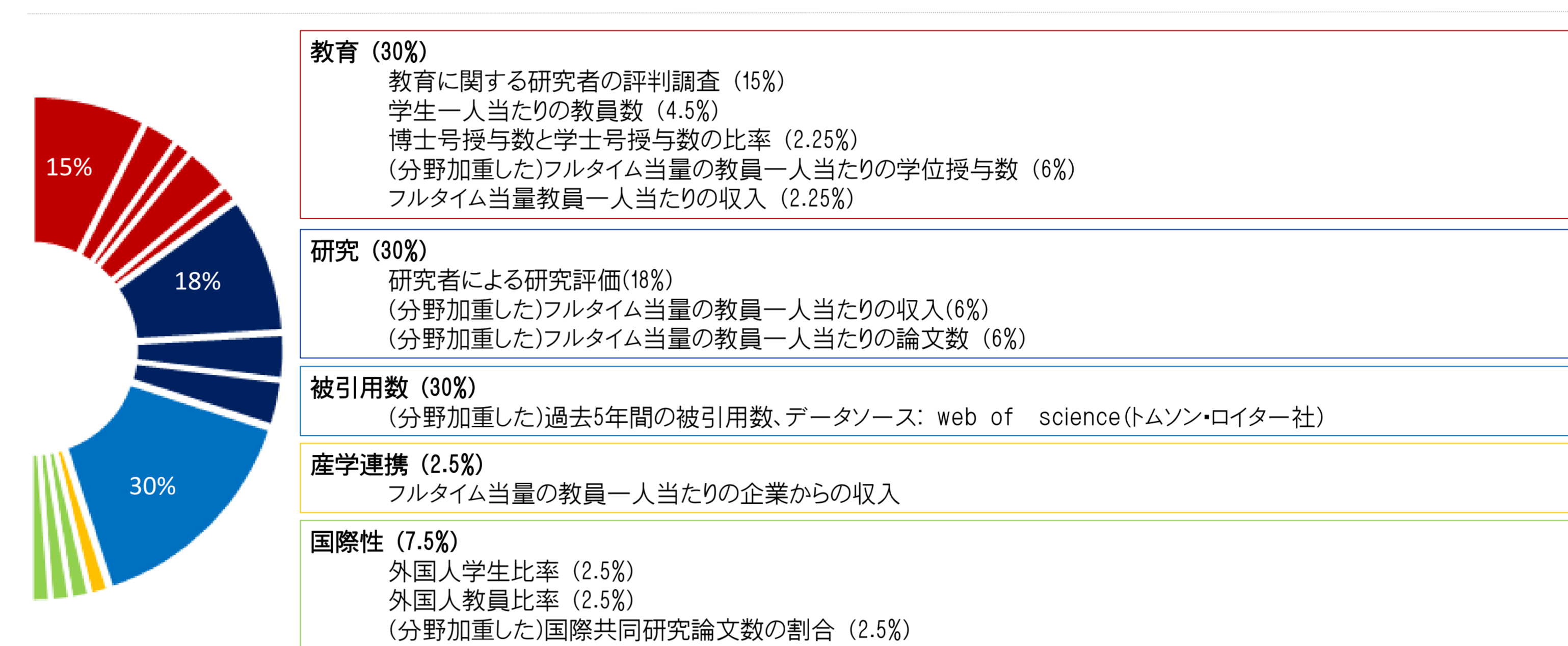
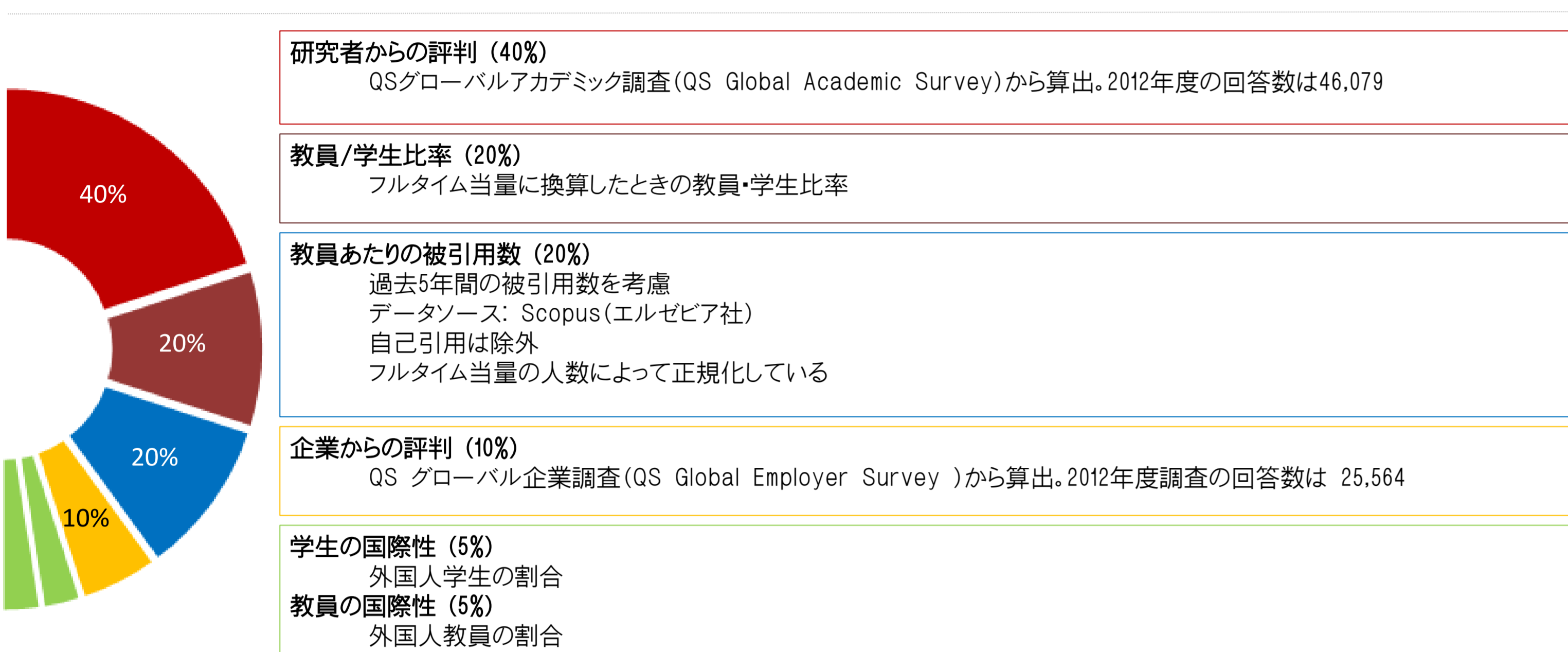
大学ランキングの採点項目について

QS TOP UNIVERSITIES
Worldwide university rankings, guides & events

http://www.topuniversities.com/university-rankings/world-university-rankings
2004年よりQuacquarelli Symonds社によって作成・公表されている。2009年までは、Times Higher Education と共同で THE-QS World University Rankingsとして公表されていた。

THE WORLD UNIVERSITY RANKINGS

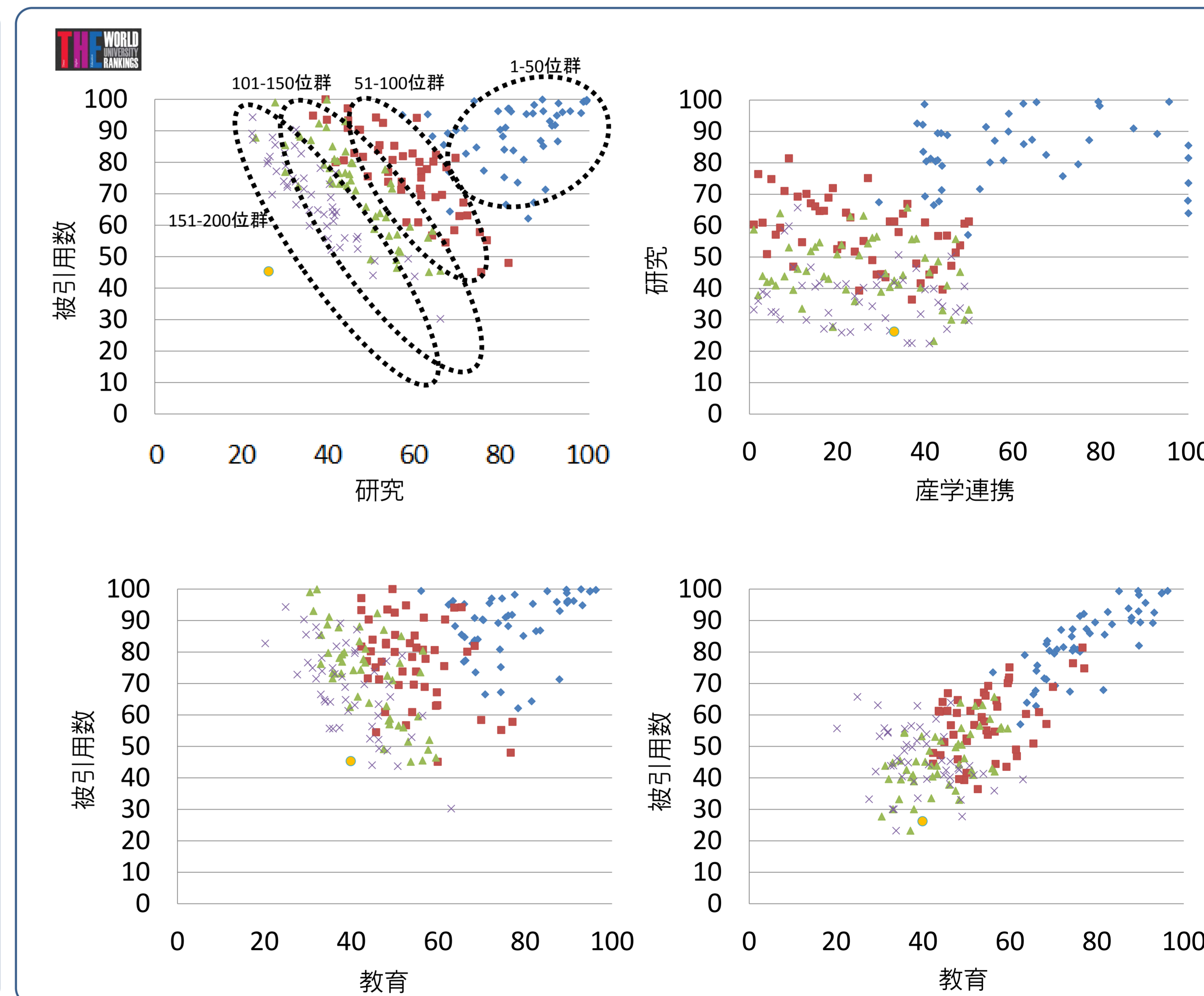
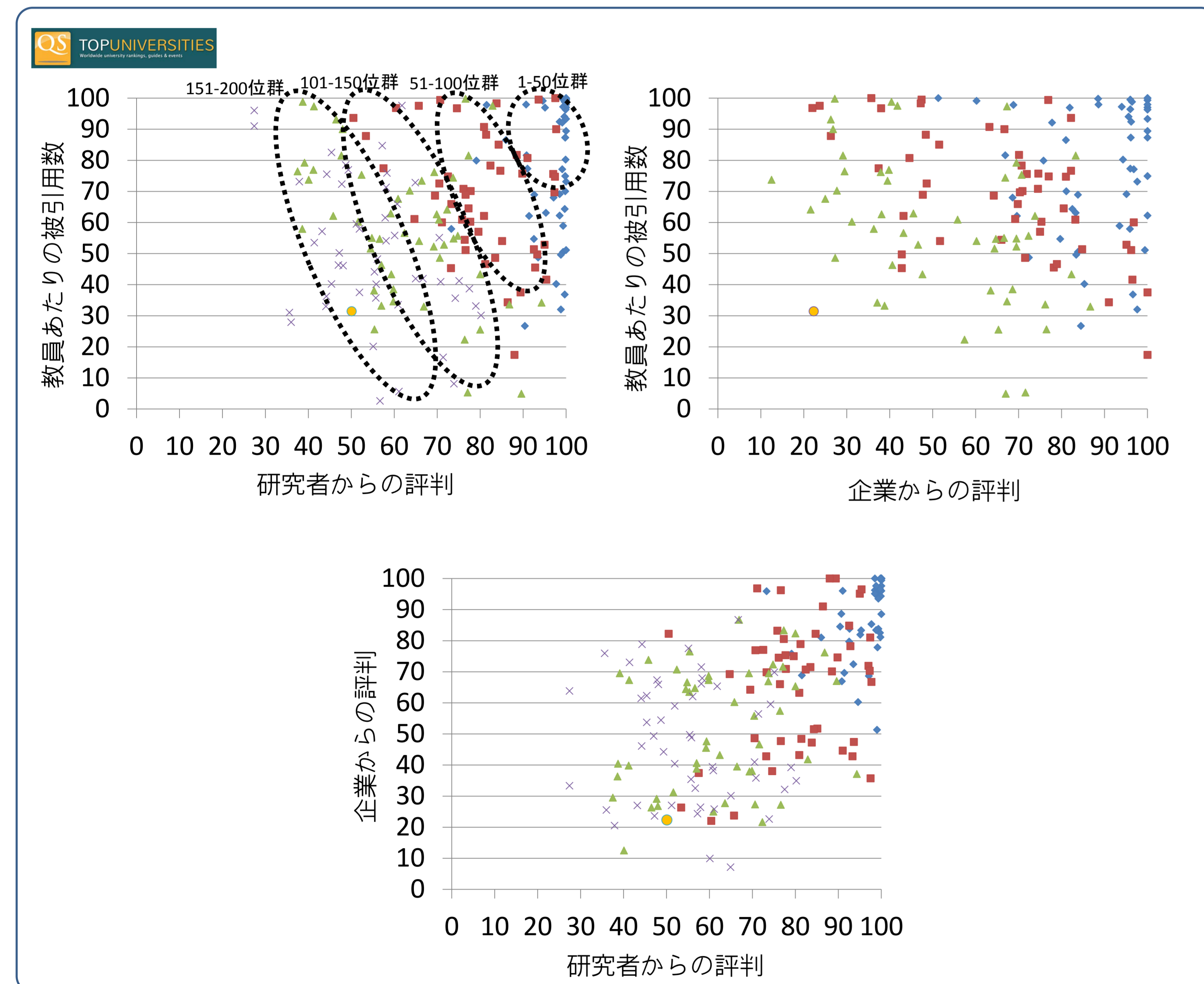
http://www.timeshighereducation.co.uk/world-university-rankings/
2010年よりTimes Higher Education社により作成・公表されている。2010年からQS社との共同ランキング制作を辞め、2010年から独自に発表し始めた。



出典:エルゼビア社提供資料より改変

大学ランキングの指標間の相関について

ランキング順位群 ● 1-50 ■ 51-100 ▲ 101-150 × 151-200 ● U Tsukuba



• QSランキングについてはどの項目もほとんど相関が見られないが、研究者の評判が高い大学は、企業からの評判も高い傾向が認められる。
• 評判点数と被引用数は、1-50位 > 51-100位 > 101-150位 > 151-200位群の順に、低くなる傾向が認められる。一方、群内では負の相関があるように見える。
→研究成果の見せる化(広報活動)が評判、被引用数獲得につながるのではないか?

• THE世界大学ランキング1~200位までで、正の相関が見えるのは教育と研究のみ。
• Industry Incomeが50点以上の大学は、研究得点が80点以上ある。
• 研究と被引用数は、1-50位 > 51-100位 > 101-150位 > 151-200位群の順に、低くなる傾向が認められる。また、51-100位、101-150位、151-200位群は群内で負の相関があるように見える。
→重点的な研究活動の活性化が教育項目の得点に影響するのではないか?

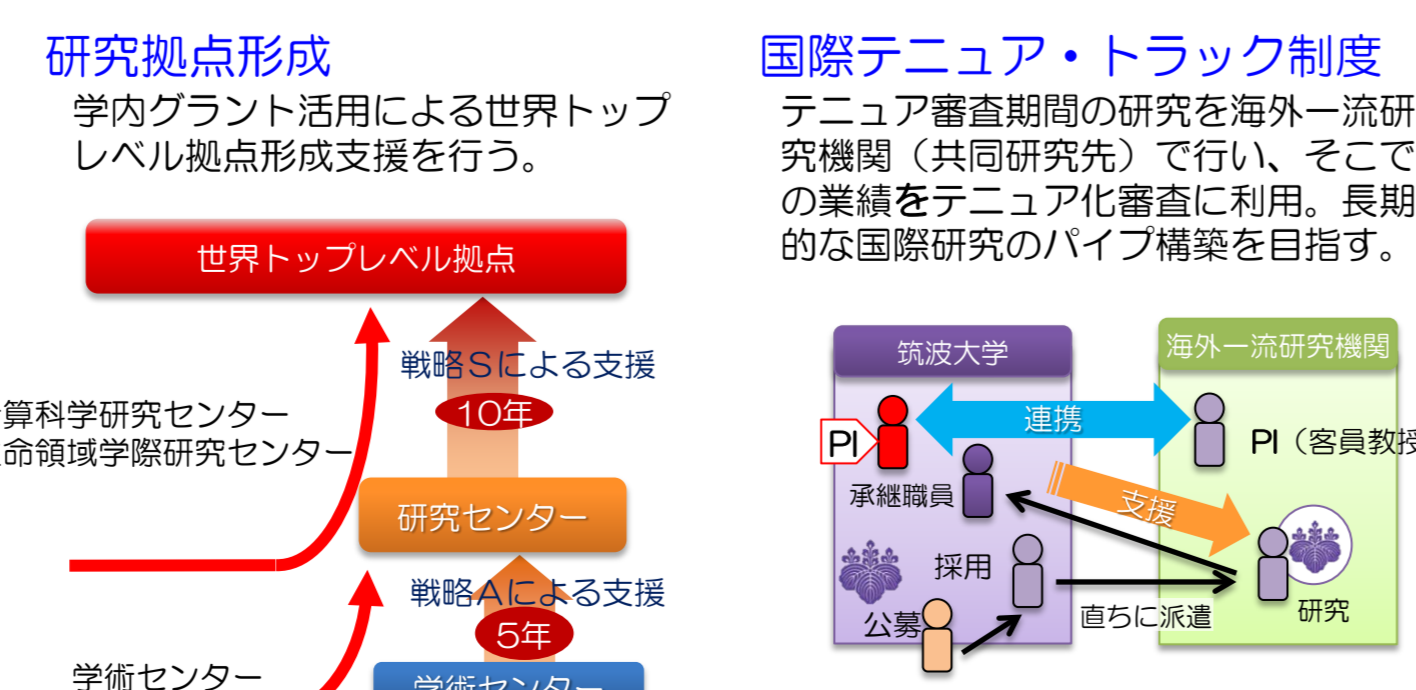
組織的な研究支援体制の構築に向けて

重点的な研究力強化策

- 計算科学研究センターと生命領域学際研究センターを人事権のある世界トップレベル研究拠点に
- 世界的研究拠点を目指す3つの学術センターを設置

- 3つの重点取組:
- ① 国際テニュア・トラック制度
 - ② 一流外国人研究者の招聘
 - ③ 研究時間の質と量の保証

重点的な研究力強化策の例:



基盤的な研究力強化策

- URA 30人体制構築
「研究戦略イニシアティブ推進機構」による研究力強化策を本部、部局URAの連携で学内展開
- 研究設備共用化の促進 (オープンファシリティー)
- 国際共同研究の推進
- 産学連携体制の強化

基盤的な研究力強化策の例:

